

# 学校支援本部ってなんだろう新聞

平成28年3月7日発行

発行：杉並区教育委員会事務局学校支援課

編集・協力：学校支援本部運営懇談会

杉並区阿佐谷南 1-15-1 TEL 3312-2111 (内) 1644

Eメール [gakko-sien@city.suginami.lg.jp](mailto:gakko-sien@city.suginami.lg.jp)



## ■学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって■

「学校支援本部」とは、学校を支えるボランティア活動を組織化して、より効果的に子どもたちの学びを支える任意団体です。区内の全小中学校に設置され、学校の要望に応じて授業支援や学習環境の整備等にあたっています。より多くの区民の皆様「学校支援本部」のねらいと取組をご理解いただき、協力の輪が広がっていくことを願って、年三回、この新聞を発行しています。本部関係者のほか、教職員、保護者の皆様に配布しています。増刷大歓迎です。皆さまからの、ちょっとイイ話、困りごと、提案なども、お寄せください。



第十二号では、中学校で行われている「部活動」等の支援をご紹介します！



### ☆部活動活性化事業☆

顧問教員などの指導者の不足により、部活動の指導が困難になる状況が生じている中、練習指導を民間団体等に委託し、部活動の充実、活性化をめざす事業です。

部活動活性化事業は土日を中心に実施され、保護者またはボランティアが練習に立ち会い、生徒の安全を見守っています。

～学校支援本部より～

杉並和泉学園では、ソフトテニス部と卓球部が「部活動活性化事業」を活用していることから、学校支援本部が立会いボランティアを行っています。

実施に当たっては、事前に顧問教員、指導者と連絡を密に行うとともに、ケガ・事故等の緊急時対応の徹底を図っています。夏期には水分補給や休憩等にも十分注意し、校庭での活動については、雨天時の連絡も担当しています。

生徒たちは、外部の専門性の高い指導を受け、さらなる技術の向上を目指し、部活動に熱心に取り組んでいます。現場に立ち会い、生徒たちと話す中で、驚かされたり心配させられたりすることもあります。絆が生まれるとともに、生徒たちの日々の成長を実感しています。

(和泉地区学校支援本部  
学校・地域コーディネーター吉橋正美さん)



### ☆中学生レスキュー隊☆

中学生レスキュー隊は、災害時に役立つ知識や技能を修得するだけではなく、防災意識や中学生としての社会貢献意識を高めることを目標としています。平成17年度から取組を開始し、今では全中学校で編成されています。

主な活動として、区が主催する合同訓練や防災施設の見学会のほか、地域の防災訓練への参加があります。



～学校支援本部より～

中瀬中学校では、中学生レスキュー隊が近隣小学校の震災救援所訓練や区の合同訓練に参加する際、地域の消防団が持ち前の知識や技能を活かし、ボランティアとして、先生と共に生徒の指導にあたっています。

ケガ人などの搬送訓練やAEDの使い方、止血方法などを教わっている中学生の様子は真剣です。何事もまずは経験だと思えます。まわりを見渡して、色々な立場の方（特に高齢者、障がい者、子ども）を思いやる心を育てることができるよう、日頃の心がけを話すことも大切にしています。



(中瀬中学校支援本部 渡邊通生さん)

# みんなで話そう！考えよう！ すぎなみ教育シンポジウム報告

平成 27 年 12 月 19 日、高井戸地域区民センター体育室で、「すぎなみ教育シンポジウム」を開催しました。今年度は、杉並区教育委員会が学校支援本部の設置を開始してから 10 年の節目を迎えたことから、「**学校支援本部の取組を振り返り、次の 10 年を展望する**」をテーマに、289 名の方々にお集まりいただきました。

シンポジウムの前半は、本部、保護者、地域活動を行っている皆様、学校の先生が 4 人 1 グループとなつて、「**学校と地域が協働して学校づくりをするために私ができること**」について話し合い、そしてその話し合いを各自振り返り考えたことを付箋にまとめました。

また後半は、前半に皆様から出されたご意見を踏まえながら、3 名の登壇者により、これからの本部活動推進に向けた可能性や課題を話し合っていました。参加者の皆様には最後に、「**明日から取り組んでみたいこと**」を宣言カードにご記入いただきました。

以下、付箋や宣言カードから、ご意見や決意をご紹介します。

## 【付箋…学校と地域が協働していくために】

- 本音で話せる関係を。そして場面づくりを。(本部)
- みなさん子どものことを良く考えている。全ては人間関係から始まり、それはとても大切。素晴らしい人材をさらに増やさねば。(本部)
- 高齢者、大学生、高校生等に子どもたちの学習に協力してもらう機会を増やす努力が必要。(一般)
- これほど学校のために時間を割き、考え、協力しようとしてくれる人々が多くいることに驚いた。(先生)
- 子どもの変容を見守ることで本部も教員もお互いに達成感が得られるように活動を組み立てよう。(先生)



## 【宣言カード…明日から取り組んでみたいこと】

- 子どもの needs を把握する。(本部)
- 他校の事例で取り組めることを前向きに進める。(本部)
- 常に問い、常に考え続ける。(一般)
- 一人ひとりの良さを発揮する。(先生)
- 同窓会組織を活用します。(先生)
- 教員以外の人と積極的にかかわる。(先生)



## 天沼小学校支援本部(あまめまワンダラーズ) 文部科学大臣表彰受賞！

「優れた「地域による学校支援活動」を推進し表彰を受けました。天沼小は、「読書活動」、「日本の伝統・文化理解教育」、「キャリア教育」を柱に活動を行っています。詳細は、平成 27 年 12 月発行の「すぎなみ教育報」をご覧ください。なお、区内校 5 年連続の受賞です。

### 文部科学大臣表彰歴代受賞校

年度	学校支援本部名
27	天沼小学校支援本部 “あまめまワンダラーズ”
26	三谷小学校学校支援・地域共生本部
25	桃井第四小学校 “ももし学校支援本部”
24	杉並第一小学校学校支援本部
23	井草中学校学校支援本部 “O(えん)”

